

第65回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成28年8月21日

○会 場 武蔵野プレイス

武蔵野市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そして屋外において実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

テーマ別では、大学生、子育て中の方、シニア世代や外国人の方たちなどと、まちづくりや活躍の場、生活や教育面での支援などについて意見交換を行ってきました。

今回は、初めて、中学生以上の青少年の皆さんにご協力いただき、「青少年の求める居場所、青少年の市政への参加」「東京オリンピック・パラリンピックへの市の取り組み」をテーマに、「第65回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、様々なかたちで、皆様との意見交換を行い、市民が主役のまちづくりを進めてまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成28年8月21日（日）
午後2時～3時30分
2. 場 所 武蔵野プレイス 地下2階パフォーマンススタジオ
3. 主 催 武蔵野市
4. 協 力 公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団
5. 参加者数 青少年 12人（運営スタッフ4人を含む）
傍聴者 3人
6. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
7. 司 会 都立西高校1年 田野辺 歩実
中央大学4年 榛澤 萌香
市民部市民活動担当部長 秋山 真弘
8. テ ー マ 『青少年の求める居場所、青少年の市政への参加』
『東京オリンピック・パラリンピックへの市の取り組み』

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 意見交換（要旨）	
1. 青少年の求める居場所、青少年の市政への参加について.....	3
2. 東京オリンピック・パラリンピックへの市の取り組みについて.....	10
3. フリートーク.....	18
(3) 閉会のあいさつ	22
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	23
3. アンケートでいただいた感想	26

— 付属資料 —

第65回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

（1）開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんにちは。今日は一気に暑くなりましたね。昨日の雨で中止になった「さかい夜市」が、今日これからプレイス前のふれあい広場公園でやるそうですので、ぜひそちらにも顔を出していただきたいと思います。

さて、皆さん夏休みがあとわずかということで、これから残りの休みを楽しんでいただきたいと思います。もちろん勉強や宿題はしっかりやるとして、残りの時間を有効活用して、一日一日最大限楽しんでください。

今日はタウンミーティングということですが、私は、市長になるときに、自分がこれをしようあれをしようという前に、市民の方のいろんな声を聞くことから始めようという姿勢でした。市長になって11年経ちましたが、当初から、市民の声をどうやったら聞けるのかと考えて、このタウンミーティングを続けてきました。今日が65回目、今までに4,871名の方にご参加いただいています。

タウンミーティングの意見はそのままにせず、必ず、いただいた意見とそれに対する考え方を報告書にまとめています。それをまた皆さんにご覧いただいて、どのように市政に反映されていくのか見守っていただきたいと思います。そして、市民の範囲を、私はとても幅広く考えています。一般的に市民というと、投票できる18歳以上の選挙権を持っている人ととらえがちですが、そうではないと思っています。もちろん、この地域に暮らす方はすべて市民ですし、この地域に来ていろいろな活動をしている方も広義の意味で大切な市民ではないかと思っています。プレイスは、恐らく住民以外の方にもたくさん利用いただいていると思いますが、そういう方も大切な市民の一員ととらえていますので、この施設を使う上でこんなことをやったらどうかとか、こんなことを改善したらどうかということも、大いに聞いていきたいと思っています。

市民は、実は意見を言うだけではありません。これからの様々なまちづくりについて、何らかのかたちで、できる範囲で協力いただく、意見を言った分の責任として何かできることをやっていただくというのが、市民の責任なり役割になってくるのではないかと思います。

今日はいろいろな意見をいただく機会かもしれませんが、それを実現するにあたって、皆さんにもできることが浮かんだら、それについて大いに力をいただきたいと思います。

今日は、武蔵野市のことをどれだけ伝えられるかわかりませんが、ぜひ地域のことに関心を持っていただいて、感じたことを関係者に投げかけていただければと思います。地域というのは、それぞれの人がいろんな地域を持っているのだと思います。まず皆さんの住んでいる地元の地域があります。しかし、学校があるところだって地元の地域の一つだと思いますし、あるいは、例えばプレイスに来て、この辺のいろんな地域に関わっていくことも、プレイスを拠点とした皆さんの地域かもしれません。いろんな意味で関わりを持つ場所が、皆さ



んの地域になっていきますので、それぞれの地域に関心を持っていただきたいと思います。

今日のテーマは、大きくは2つありまして、1 番目は、皆さん青少年の求める居場所というのとはどんなところなのかです。武蔵野でこれからどんな場所が青少年にとって必要なのかということをご提案していただきたいと思います。2 番目には、今オリンピックの真ただ中で、日本の選手が大活躍して、わくわく感動の毎日ですが、いよいよ4年後にはこの東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるということで、4年後に向けて皆さんがどのように関わっていただけるのかということを含めて、広く意見交換できたらと思っております。それでは、1 時間半、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会 田野辺・榛澤】

タウンミーティングの司会をつとめます、高校1年の田野辺です。今日はよろしくお願いします。

同じく司会をつとめます、大学4年の榛澤です。今日は、タウンミーティング中も皆さんと同じように参加したりもしますので、どうぞよろしくお願いします。



では、注意事項を言います。一つのテーマは 30 分間です。限られた時間の中で、ささいなことでも積極的に発言していくようにしましょう。いろいろな意見を出してもらいたいので、人の意見を否定するのではなく、自分の意見を付け加えたかたちで発言するようにしましょう。

次はさっそくテーマに入っていくのですが、最初のテーマは、青少年の求めている居場所とか、青少年がどういうかたちで武蔵野市の政策とか活動に参加していけばいいかということで話し合いたいと思います。まず市の方から、今までやってきていることなどを大まかに説明していただきたいと思います。

1. 青少年の求める居場所、青少年の市政への参加について

【市民活動担当部長】

本日の1つめのテーマは、青少年の求める居場所、それから青少年の市政への参加ということです。青少年の市政への参加というのは、このように市長と話し合っていたくのももちろん参加ということになります。

さて、今日皆さんに来ていただいた武蔵野プレイス、こちらはできて5年になります。市の様々な課題の中で、青少年の活動をどうやって市が支援するかという課題があり、そのひとつのかたちがこの武蔵野プレイスです。地下2階が青少年支援のための施設、青少年フロア（通称「B2」）で、そのほか市民活動支援、生涯学習支援、図書館もあります。今回の会場が、ダンス練習などができるパフォーマンススタジオ、隣が音楽活動を支援するサウンドスタジオ、青少年フロアにつながる図書館スペースには、芸術関係の図書や青少年向けの図書や雑誌が置いてあります。3階に行くと個人学習ができるスタディコーナー、市民活動支援もやっていますが、その中では、皆さん若い方が参加できる地域の市民活動もいろいろありますので、それにも興味を持っていただければと思います。



市内には、プレイスの他に、地域の居場所であり、子どもから高齢者まで、地域のいろいろな課題をまとめたり話をするコミュニティセ

ンターが 16 か所あります。そこでもサロンなどのスペースで、青少年が話し合ったりでき、また学習室もあるので勉強もできます。そのようなかたちで市は青少年の活動を支援しています。皆さんは学校のクラブ活動などいろいろあると思いますが、放課後、土日などを、自分の勉強、研究、あるいは友達との交流などに使っていただければと思います。

ちなみに、プレイスの青少年フロアのような施設は、武蔵野市だけではなく、東京都で一番有名なのは、一番最初にできた杉並区のゆう杉並で、文京区にも似た施設があります。青少年を含めてたくさんの方がプレイスを訪れて、自分で、または仲間たちと活動しています。引き続きここを使っただき、あるいはコミュニティセンターなどにも行っていただいて、地域の活動に携わっていただければと思います。

【司 会】

では、皆さんに、イエスかノーで、3つの問いに答えていただきたいと思います。

1. 日頃、プレイスやコミセンなどの武蔵野市の施設を利用している。
Yes 10 , No 2
2. 武蔵野市の施設は、自分たち青少年にとって使いづらいところがある。
Yes 7 , No 5
3. どのようなまちや施設が青少年にとって過ごしやすいか、具体的なアイデアがある。
Yes 4 , No 8

【司 会】

意外と、使いづらいところがあるという方が半分くらいいますね。

【市 長】

当然施設を使えば、ここはもう少しこうした方がいいなと感じると思うので、私は使いづらいところがあるってみんな手をあげるのかなと思ったんですが、まだ使い方が浅いのではないかなんて思ったりします。それでは質問していいですか。使いづらいところがあって、それに対するアイデアがあると、つながった回答が言える人がいればどうぞ。

【青少年】

高校3年です。境に住んでいますが、通学の関係で吉祥寺を使っています。使いづらいというよりも、吉祥寺にプレイスのような場所がどこにあるのかわからない、そもそもあるのかどうかもわからない。吉祥寺にプレイスみたいな



場所があるとすごく便利だなと思います。吉祥寺って、忙しいまちというか、流動的なまち、人が行き交って流れているまちだと思うんです。ただプレイスは、例えばこの地下2階だったら、止まっている、人がその場でくつろいでる感じで。コミセンはそういう感じなのかもしれないけれど、吉祥寺のどこにあるのかわからない。プレイスばかりが青少年の施設として推されていて、他の場所が弱くなっている感じがある。そのあたりをわかりやすく教えてほしい。具体的なアイデアというと、ささいなことですが、場所などの案内をもっと充実させてもいいのかなと思います。

【市長】

似たようなご意見はありますか。

【青少年】

大学2年です。すごくわかります。武蔵境にはプレイスがあるけれど、吉祥寺にはなくて、吉祥寺に住んでいる人にとっては、プレイスは遠い存在だと思う。初めて、プレイスについて、吉祥寺の人からの見方を聞いたけれど、今まで境にあるのが当たり前だと思っていて、吉祥寺にもあるべきとは思ったことがなかったです。吉祥寺には本町コミセンとか南町コミセンがあるので、そこで卓球台を使ったり会議したりはできると思うけれど、確かにプレイスよりは使いづらいかと思います。

【青少年】

高校3年です。吉祥寺にプレイスのような施設ができた場合、プレイスの混雑が緩和するのではないかと考えています。プレイスは人が集まりやすい分、日中の混雑が激しくなっていて、席がとれない場合も多々ある。もし吉祥寺にも同じような施設があったら、吉祥寺の分の役割が分散されるので、吉祥寺にもあったらいいんじゃないかなと思います。

【青少年】

大学2年です。私は緑町に住んでいて、武蔵境にも吉祥寺にも自転車で行ける距離にいます。高校受験の時に、家で勉強ができないタイプだったので、プレイスに行ったら日中混んでいて、どうしようと思って電車で吉祥寺に行って、コミセンやカフェで勉強していました。周りでは、地元の緑町コミセンとか北コミセン、けやきコミセンを使っている人もいたけれど、さっき、けやきコミセンが結構すいているというのを聞いて、やっぱりコミセン自体の知名度って低いのかなと思いました。私は小さい頃から、子ども祭りでもけやきコミセンとか行っていたので、なじみ深かったんですけど、青少年、学生は使いづらいと思う人が多いのかなと思います。そこ使えるんだ、行ってみたことないやとか。そういう子たち向けのイベントが増えるといいのかなと思います。部活や勉強

で使うだけでなく、イベントなどがあるといいと思います。

【市長】

では、ここまででちょっと話をしたいと思います。プレイスは5年前にできたのですが、当初どれくらい利用されるかと予測をしました。その時には、多くても年間80万人くらいが利用されるのではないかと予測し、いろいろ態勢を整えたんですが、オープンしたら、毎年利用者数が増えて、昨年1年間で175万人でした。予想以上に多くの方に利用いただいてうれしく思っています。また、利用者のうち半分くらいは市民で、それ以外は周辺の市から来ていただいています。これは、私はいいいことだなと思っていて、駅前にあるのに武蔵野市民しか使えないとしたらナンセンスだと思うし、いろいろな人が集まることで、いろいろな交流が生まれることを期待しているので、これはこれでいいと思っています。

プレイスの位置づけというのは、大きくは2つあって、1つは武蔵境、西部地域の図書館となっています。武蔵野市には3つの図書館があって、中央地域は中央図書館、吉祥寺地域は吉祥寺図書館、武蔵境地域はこのプレイスの図書館です。図書館は3駅圏ごとに1か所ずつ作る方針で、そのうちの1つになっています。



武蔵野プレイス

ところが、青少年のフロアや市民活動、生涯学習については、全市の施設なんです。ですから、全市のひとつの大きな役割を担っているということで、名前も武蔵境プレイスではなくて武蔵野プレイスです。基本的には、図書館を除いては全市的な施設の位置づけなので、同じような施設を吉祥寺や三鷹を作る予定はないです。でも、自分の家の近くにあったらいいですね。吉祥寺でタウンミーティングをやると、プレイスを吉祥寺にも作ってくれと言われます。だけどそれはなかなか難しい、コストの問題もある、場所の問題もある、それから、それぞれの地域がいろいろな特徴を持った施設を持っていていいのではないかと思います。中央部には、市役所の周りに陸上競技場や体育館があるでしょう。それを各駅ごとに作るかということ、なかなか難しいので、それぞれの地域が役割分担をしてもいいのではないかと思います。幸い武蔵野市は狭いので、自転車でもどこにでも行けます。路線バス網もコミュニティバスのムーバスも網の目のようになっていて、バス停の数を数えると、恐らく全国で一番くらいの密度で、200mに1か所必ずある。家から歩いていける範囲に必ずバス停があるという都市は、全国にほとんどないと思います。交通利便性のよい、コンパクトでいろんなところに行きやすい武蔵野市なので、どこの駅地域にも施設を設けるというのはなかなか難しいと考えています。

位置づけとしては、全市の施設として、このプレイスを使っていたらいいと思います。

す。もうちょっと言うと、吉祥寺は吉祥寺で、いろいろな遊び方、居場所があるじゃないですか。井の頭公園やいろいろなショップ、カフェ、コミセンもあるし、それぞれの施設をうまく使えば、いろんな楽しみ方、居場所ができるのではないかと思います。

そういうバランス的な観点から、このような配置でいいのではないかと考えています。意見があればどうぞ。

【青少年】

プレイスはここだけでいいというのはよくわかりました。私、実は中学校で武蔵野市に越してきて、中学から私立なので、武蔵野市の公立の学校に行っていないせいか、コミセンがすごく縁遠いです。コミセンのイベントって、結構小学生向けが多いので、中学から越してきた者からすると、とても距離を感じる。だけどプレイスは中高生向けのものが多くて、すごく来やすい。空間づくりもしっかりしている。それに比べると、コミセンは影が薄いというか、主張が薄いところがある。吉祥寺でも、コミセンを利用すればいいじゃないかというけれど、そのコミセンはどこにあって何ができるのかという疑問がすごくあるので、使い方を教えてもらったり、コミセン側から中高生に向けて何かやってくれると、行こうというきっかけになるし、こういうところだったんだと発見があるかなと思います。

【市長】

皆さん、市勢要覧の 26 ページを開いてください。武蔵野市内のいろいろな公共施設が書いてあります。コミュニティセンターは、実は、運営は地元の方にやっていただいでいて、16 のコミュニティ協議会の皆様方に、20 のコミセンの施設を運営していただいでいます。当初から、子どもから高齢者まで誰もが利用できるコミュニティ施設です。中高生は行けないのではないかと誤解もあるのですが、基本は、誰もが自由に利用できる施設としてスタートしています。ただ、課題としては、どちらかというと運営側が高齢者の方が中心になりつつあって、日中はほとんど高齢者の方が使っているため、若い人が行きづらいという面が多々あるのかと思います。しかし、コミセンの方も頑張っていて、なるべく若い人にも来ていただきたいと、いろいろなイベントを通じて案内をしているのですが、なかなか皆さんとつながっていない。コミセンはあまり広報の手段がなくて、フェイスブックもツイッターもやっているところはありません。ホームページの更新も遅れ気味です。青少年の皆さんとのつながりが、コミセンは実に弱いのかなと思っています。それで逆に、コミセンをよく利用している方っていらっしやいます？コミセンに対して感想を言っていただけますか？

【青少年】

大学 4 年です。コミセンは、中学高校の時、友人と吉祥寺で遊んだ時に、高校生だけか

らお金があまりなくて、カフェに行くのもはばかれる時に、一息入れるところとして行きましたが、やっぱり高齢者の方が多くて、あまり長居しない方がいいのかなと思って、10分～20分、長くて30分くらいで出てしまっていました。もう少し若い人が多ければ居やすいのだけれど、高齢者の方が囲碁や将棋をやっている空間な感じがして、友人と談笑するわけにもいかないのかなと思いました。

【青少年】

家の近くにけやきコミセンがあって、小さい時から使っていました。中高と私立だったので、この辺の学校に通っていませんでしたが、例えば中学受験の勉強に、けやきコミセンを使っていました。確かに、先日大学の試験勉強をするためにけやきコミセンに行ったら、町内会のおじさんばい方が話をされていて、ここにいたら悪いんじゃないかと思って出ていったりもしました。若者が居やすい場所づくりは必要で、



けやきコミセン

例えば設備をもうちょっと若者の目をひくようなものにしたりすればよいのではないかと思います。吉祥寺の駅前に本町コミセンがあるけれど、駅に出た若者がなぜコミセンに行かずにカフェに行くんだらうと考えた時に、やっぱり設備の面とか、入りやすさ、使いやすさの面かと思う。コーヒー1杯のお金を払ってでも、カフェでおしゃべりしたいというその心境とかを若者から得られたら、結構いいコミセンづくりができるのではないかと思います。

【青少年】

武蔵野プレイスはよく使うんですが、コミセンはちょっと遠くて道が狭くてわかりづらいので、わかりやすい地図みたいなものをいろんな場所に配置したりすればいいかなと思います。

【市長】

初めて行く時はわかりにくいかもしれないけれど、ナビで見ればすぐわかるのではないのでしょうか。私としても、コミセンをもっと若い人に使ってもらいたいと思っています。どうすればいいのか、アイデアとして、雰囲気と設備的な問題などいくつか出てきましたが、どうすれば皆さんがもっと使いやすくなるのでしょうか。

【青少年】

コミセンを運営している方たちは、SNSを、使い方がわからないから使っていない

のかよくわからないですけど、SNSをもっと広報に使っていったほうがいいと思います。やっぱり若い子たちは、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど全部やっていると思うので、そういうもので広めていくこともできるし、あとは運営自体に、若い大学生や高校生が関わってみるといっても面白いのではないかと思います。

SNSの他に、フリーペーパーも面白いんじゃないかなと思います。境のフリーペーパーはかわいいのがあるんですが、地域でフリーペーパーを作っているのは境くらいしか見たことがなくて、吉祥寺地区とかで、「コミセンめぐりしてみました」みたいなのを作ったら面白いのではないかと思います。



フリーペーパーiisakai

【青少年】

コミセンで、スタンプラリーを毎年3月くらいにやっていますよね。それをもう少し広げていったらどうかと思います。実は本町コミセンとか入りづらくて、お祭りは行ったことがあるので、スタンプラリーに行こうかと思うんですが、毎回気が付くと終わっていて。

高校時代に有志で冊子を作って後輩にあげるというのをやっていて、それにコミセンも取りあげようってなった時に、例えば北コミだと、月曜日は高校生も使えるけれど何時からは使えないとか、火曜日は幼稚園児だけとか、ホームページでいくら調べても出てこないけれど、実際に行くと、はいこれあるよって紙がもらえる。ホームページがあるのになぜ載っていないって思ってしまいます。アイデアとして、一番簡単な方法は、利用時間帯の表をホームページに載せることだと思います。

【市長】

さて、コミセンは誰が運営をしているのでしょうか？コミセンは、実は地域のボランティアで運営をしています。市の職員がやっているわけではなく、自主的に管理運営いただいているんです。さっき誰か、運営の一部に若い人が入れればいいのではと行っていましたが、まさにそういうことではないかと思っています。若い人が入らないと、なかなか若い人の感覚がわかりづらいですよ。皆さん方は、九浦の家、東コミセンは行ったことあるかな、そこは窓口にも大学生も入っています。大学生が関わっているの、おのずと若い人の意見も運営などに反映されていきます。それからけやきコミセンでも、成蹊大学の皆さんがいろいろなイベントに参加していると思います。イベントを通じて、若い人と関わる場を持つことによって、運営にも新しい考え方が大いに生まれてきます。

若い人の運営への参加がないと、なかなかそういう取り組みは進まないのではないかと思います。若い人がいれば、その場でツイッターとかもできる。SNSだったら、その場所になくても、例えば学校の休み時間に連絡をとりあって記事を書いてあげよう

とか、そういうお手伝いもできますよね。若い世代に、何かの機会に運営に協力いただけることがあれば、より一層若い人の考え方が入ったコミセンになっていくのではないかと思います。まずはコミセンを知ろうということですが、今まで3月にやっていたスタンプラリーは、実は昨年度で一旦終了することになりましたので、残念ながら今年はありません。秋には各コミセンで文化祭がありますので、なるべく行ってみることから始めて、コミセンの状況を知って、関わることがあればやってみていただければと思います。

【司 会】

では、この話はここまでで次の話題へ移ります。また市の方から説明をお願いします。

2. 東京オリンピック・パラリンピックへの市の取り組みについて

【市民活動担当部長】

次のテーマは、東京オリンピック・パラリンピックへの市としての取り組みについてです。今回のリオでは、日本は 65 個のメダルを獲得し、史上最高のメダルの数だそうで、4年後にはもっと期待できるのではないかと思います。オリンピックというのは、競技をやっている方だけではなくて、私たちにとっても、まちづくりや外国人との交流などのきっかけになります。昭和 39 年の東京オリンピックの時には、首都高速、新幹線などが作られ、まちづくりや国づくりのきっかけになりました。今度のオリンピックも、われわれ市民がそれをきっかけにいろいろなことができるのではないかと思います。

武蔵野市でどういうことをするかというのは、3つ掲げています。1. まちの魅力の再発見と国内外への発信を通して、市民の力が活かされるまちづくりを進めます。2. スポーツや文化を通じた感動や交流により、一人ひとりを大切に、多様性を活かす市民文化を育みます。3. 誰もがまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくります。この3つを掲げて、いろいろな取り組みをこれから進めていきます。

既にやっているのが、Sports for All という、いろいろなスポーツの体験イベントで、これからもやっています。もうひとつはホストタウン構想です。市がオリンピックに参加する国といろいろな交流をする、来た方にいろいろサービスをする、まちを知ってもらう、そんな取り組みをします。東京都では5つの市区、武蔵野市、調布市、町田市、青梅市、世田谷区がホストタウン事業を行います。武蔵野市は友好関係であるルーマニアのホストタウンとして、ルーマニアの人たちを招いて、武蔵野市を知ってもらう、交流をする、応援をす



Sports for All カヌー

る、などの取り組みを予定しています。

【司 会】

ではまた、イエスかノーで、問いに答えてください。

1. 4年後の東京オリンピック・パラリンピックを楽しみにしている
Yes 10 , No 2
2. 東京オリンピック・パラリンピックの開催は、東京や武蔵野市、自分にとってもいい影響があると思う。
Yes 7 , No 5
3. 東京オリンピック・パラリンピックについて、何らかの関わりを持っていきたい。
Yes 8 , No 4

【市 長】

皆さんは、オリンピックってどんなイメージなのかな。私は前回の東京オリンピックがすごく印象的でした。小学校1年生の時だったので、当時は、テレビはようやくありましたが、世界中の人が集まる大会はめったになかったから、オリンピックってすごいなと思って見ていました。ところが今は、テニスなどいろいろな国際大会があるので、オリンピックで外国の選手がプレーするのを見るのが、そんなに珍しくなくなってきたのではないですか。オリンピックに対して、私が子どもの頃に持ったような感動は、みんなにはそんなにないのかな。オリンピックをどう見ているのでしょうか？

【青少年】

高校3年です。前回の東京オリンピックの時に、テレビで見る映像だと、東京で高速道路などインフラが整備されたというイメージがあるんですけど、具体的に武蔵野市がインフラ関係で変わっていくか、その点はどうでしょう。

【市 長】

ご存じのとおり、武蔵野市内でオリンピックの競技はありません。ですので、事前のキャンプや練習会場として使っていただきたいと思っていて、それに対応できるように、陸上競技場や体育館を若干整備しようかとは考えています。市では、オリンピックが来るからといって、大きなインフラ、道路を整備したりすることはないですね。むしろそれは、東京都とか国の方で大きな仕事があるかもしれないです。

【青少年】

道路標識などが、ローマ字読みだと外国人の方がわかりづらいから、それが変わるという話を聞いたことがあるんですが。

【市長】

日本の道路標識は、日本語をローマ字で書いただけで、何のことかわからないので、英語表示にしたほうがわかりやすいのではないかと、今研究が始まっています。ただ、やるのだったら、なるべく早めにやらないと間に合わないので、東京都の方針が決まればそれに応じて対応していきたいと思います。合わせて、英語が共通語になると思いますが、武蔵野市の総合案内や地図は、日本語、英語、中国語、韓国語、この4か国語表記を原則としているので、基本的にはなるべく4か国語以上にしていきたいと思っています。例えば、武蔵境駅の北口広場にある大きな案内地図には4か国語で表記しています。

【青少年】

今、テレビでも中継が充実していて、実際に見ているような感覚になれます。私は都内で開かれた国際大会を見に行ったことがあります。席が遠くて意外と迫力がなかったんですね。直接見に行くよりもテレビで見たほうが、細かいところまで、選手の表情が見られたりして、意外とテレビでも満足できてしまうところはあると思います。

あと東京でテロが起こるといふ話もあるので、オリンピックが来るのが怖いなという思いがあって、楽しみなのと怖いのとで複雑な気持ちです。

【市長】

テロが起こらないように、いろいろな安全対策をしていくのだらうと思います。確かに画面で見ると、選手の表情も見られていいのですが、ただ生で見る良さはありますよね。私はいろいろなスポーツが好きで、よく試合会場に行くのですが、テレビ中継は、例えばサッカーだとボールだけを追っている、でもサッカーが好きな人は、他の選手の動きとかを見たい時がある、現場だと見られるわけですね。



どちらかというと、現場に行って、現場の中でみんなと一緒に盛り上がって応援するのがいいのではないかなと思うんですが、まあ2つの楽しみ方がありますよね。

【青少年】

大学4年です。まず、ものすごい数の国の人があつたところに来るといふのがすごいなと思います。今回のオリンピックを見ていると、自分が知らない国がいっぱいあつて、そういうことを知れるというのもあり、オリンピックは好きです。あと、その場でないと体験できないから、特別感というの私の中にあります。

【市長】

オリンピックに出ようと思っている人はいますか？いないの？

【青少年】

出るというか、スタート前の選手の荷物の預りとかのボランティアがあると思うので、そういうのをやりたいと思っています。

【市長】

多分、皆さんの世代は、4年後のオリンピックの時に、ボランティアとして大いに活躍していただく世代だと思います。選手について荷物を持ったり、誘導したり。それから競技に直接関係ないかもしれないけれど、外国の方がたくさん来られるから、外国の方を案内するとか。武蔵野市ではルーマニアのホストタウンとしてのもてなしもあるだろうし、その他の外国人の方に地域を案内したりイベントを開いたりしていく上で、皆さんの協力はぜひお願いしたいと思っています。これから具体的なボランティア募集などがあると思いますので、ぜひ注目してみてください。

【青少年】

オリンピックの印象なんですけど、他の国際大会は、勝者だけに焦点があたる感じがあるんですけど、オリンピックだと、もちろん勝った人もクローズアップされるんですけど、それだけでなく、フェアプレイとか、今回のオリンピックだと、女子の5000mの競技で助け合ってゴールしたとか、そういう美しい話がいっぱいみんなに伝わってくるというところが、オリンピックとかパラリンピックのひとつの魅力なのじゃないかなと思います。

【市長】

まさにスポーツマン精神を直に見られるというのは感激ですよ。もちろんオリンピックはトップアスリートの戦いで、それもいいんですが、私が特に注目しているのは、その後のパラリンピックです。武蔵野市も、この間、障がい者スポーツをいろいろやってきて、最近わかってきたのは、障がい者スポーツというのは、実はルールさえ決めれば誰もができるスポーツなんです。例えば車いすバスケは、我々でも乗って一緒にできます。とすると、障がい者だけではなく、ユニバーサルなスポーツとして扱えると思っているので、市としては、単に障がい者だけのスポーツを周りで応援するのではなくて、一緒に楽しめることをやっていけないかと、いろいろ研究しています。

シッティングバレーボールって知っていますか？座ったままやるバレーボールなんです。下肢が不自由な人のための基本的なスポーツですが、立ってはいけないというルールであれば誰でもできて、一緒に楽しむことができるので、今年やってみました。い

ろんな面で、障がい者という狭い範囲でくるのではなくて、むしろいろいろな人が一緒に楽しむことが必要ではないかと思うので、市としては、そういうスポーツも今後取り入れていければと思います。

【青少年】

オリンピックって、知名度が高いスポーツの方が中継時間が長かったり、取り上げられたりするのが多いじゃないですか。武蔵野市が、知名度があまりないスポーツの紹介や体験をやって、市民の人がいろんなスポーツに興味を持てるような活動があるといいなと思います。



シッティングバレーボール

【市長】

オリンピックはお金がかかっているので、テレビの放映権の問題で、日本人が出場しているなど、視聴率の高い競技の放映時間が長いと思います。ただ、今 NHK のインターネット中継では、確か全種目放映していますよね。ですので、それを見ていただければ、テレビ中継がないものでも、インターネットで見るという楽しみ方もできると思います。今おっしゃったように、なかなか見られない競技を、このようなかたちでどこでも見られるような仕組みを、ぜひ取り入れていけるといいですね。武蔵野市だけでやるのはなかなか難しいと思いますが、紹介はできると思います。こんなスポーツをイベントの一環としてみんなでやってみようといったことは大いにできます。

【青少年】

数年前の冬季パラリンピックのバンクーバー大会で、西東京市の職員の方が金メダルをとったことがあって、市役所にのぼりのような幕が下ろされて、市民にそれを伝えていく活動をされたんですが、それでも市民自体が盛り上がり欠けたという印象がありました。もっとパラリンピックを身近にしていくためには、小中学校にパラリンピックの選手に来てもらって講演やスポーツイベントなどをやれば、障がい者と健常者がへだたりなく接することができるんじゃないかと思います。

【市長】

ぜひ、これから4年、またその後も続けられたらと思いますが、車いすバスケットとか、チェアラグビーという車いすのラグビーなど、いろいろなスポーツを学校で子どもたちに体験してもらいたいと思っています。それから、やっぱり地元になんかの選手がいると気運は盛り上がります。今回残念だったのは、オリンピック選手に武蔵野市ゆか

りの方がいらっしやらなかったものだから、ちょっと市としては盛り上がり欠けてしまったなと思います。

有望選手がいたらぜひ応援したいと思っていますので、ぜひこの人を応援しようとか、あるいはこの中で出たいという人がいれば、みんなで応援できるのではないかと思います。



リオオリンピックパブリックビューイング

【青少年】

オリンピックの時に、どれくらいの人に来るのかというのは、大体予想の人数が出ていますか？

【市長】

もし事前キャンプがあるとすると、その目当てのお客さんも来ると思います。それから、世界中から観光客が東京に来られるので、観光の一環として吉祥寺に来ることは大いにあり得ると思います。具体的な数はまだ推計はしていませんが、これからする必要はあるかと思っています。それから、いくつかの競技の会場は味の素スタジアムなのですが、味の素スタジアムへの玄関口のひとつが武蔵境です。バスのピストン輸送で行くようになると思うので、拠点のひとつになる武蔵境にあるプレイスを使って、オリンピック関係のことをやったら面白いかもしれないですね。ここでプレイベントをやって、それから本会場に行って盛り上がりましょうとか。

武蔵野市ではこういうことをやるので、外国の方ぜひ来てくださいというPRの仕方も大切ではないかと思います。多くの方が東京に来られるのは間違いないので、東京に来られた外国の方を、どう吉祥寺にあるいは武蔵野市にひっぱってくるか、ぜひ皆さんにアイデアを出していただきたいです。

【青少年】

今でも外国人の方多いですね。吉祥寺の小ざさで並んでる外国人の方とか増えたなあと思います。

【市長】

外国人の数は、だいぶ増えています。しばらく前は中国系の方がほとんどでしたが、最近は欧米の方も結構いらしています。市でもSNSでの発信はしていますが、それ以上に、個々人の発信から吉祥寺の面白さがネットで伝わっているようです。そういうもともとの魅力的なまちづくりを進めないと、伝えたいことは伝わっていかないので、日々努力をしていく必要があると思っています。

【青少年】

東京オリンピック開催が決まったあたりから、外国人の方がたくさん来るので、英語をちゃんとやっておきなさいとすごく言われるようになりました。東京に住んでいると、外国人の方と触れ合うチャンスも多くなるので、英語の勉強もしやすくなるし、言葉のレベルが上がっていけば、ボランティアの時に活躍できる若い世代が増えていくのかなと思います。人との触れ合いみたいなところで、言葉は大切だと思います。

【市長】

必ずしも言葉だけではないかもしれないけれども、言葉が通じるというのはすごくコミュニケーションを広げますよね。残念ながら、私は英会話はそんなにできないですから、若い人に期待したいです。ぜひ皆さんは、その意味ではまずは英会話、プラス他の外国語の会話もできるようになるといいと思います。このプレイスでも、英会話をやっている人がいて、例えばカフェの店員さんたちも結構英語ができたりします。

ぜひ若い人に英会話をできるようにしてほしい、そのためにどうしたらいいか、考えはありますか。

【青少年】

英会話って、自分の意志を相手に伝えられたとか、成功体験があつてうまくなっていくと思うので、武蔵野市にたくさんの外国の方が住まれていると思いますが、そういう方と交流できるような場があればいいと思います。



【青少年】

グローバル化が進んでいますが、ネイティブの先生をプレイスとかに連れてきて、スピーチやトークの練習をするのもありなのかなと思います。ちょうど僕の学校はネイティブの先生がいっぱいいいて、周りでそういうのが進んでいるんですが、プレイスでもそういうことができるんじゃないかなと思います。

【市長】

プレイスの運営の中に外国人がいても面白いですよ。例えばB2に外国人がいて、英語だけでしか会話しないとかね。そうすると来にくくなってしまうかな？そんなことはないですよ。教科書を見てというより、実践の会話をしながらやるのが一番上達するのではないのでしょうか。皆さん、もちろん学校でも勉強されていると思いますが、外国人と交流する機会というのはないですか。

【青少年】

私の学校では、海外の方や日本に留学している方を招いて、日本人の生徒 5～6 人に海外の方を交えて英語だけで話すという、有志の人が参加できるプログラムがあります。

最初はみんな、英語わからない、ハ、ハロー、みたいな感じですが、5 日間くらいの講座の最終日になっていくにつれて、だんだん、通じなくても文法が適当でもとりあえずしゃべってみようという意思が大事なんだというのがわかって、なんとなく会話になるので、そういう場はあったほうがいい、一回経験してみるのはとてもいいことだと思います。

【市長】

M I A 知っている方はいますか？ 武蔵野市国際交流協会。スイングビルの 9 階で、M I A が外国人との交流活動促進をしています。武蔵野市内には、外国人の方が 2500 名くらいお住まいですが、住民登録をしている方の他、留学生の方も含めて、M I A がいろいろな交流活動をやっています。皆さんも参加するのは可能です。いろいろなイベントに行くと、直に外国の方と出会う機会が出てきます。日常会話がそこでできるのではないかと思うので、ぜひ訪ねて行ってみたいと思います。それから、ぜひ皆さん、

外国に行きましょう。それは留学という大きなことだけではなく旅行も含めて、やっぱり異文化に触れあうことが外国語を学ぶきっかけになると思うので、親のすねをかじれる人はかじって、そうでない人はバイトをがんばって、自力で行っていただきたいと思います。若い頃は時間があるんですよ、忙しいと思っているかもしれないけれど。就職して仕事を始めると、もう時間がなくなってしまうので、

若い頃に大いに外国に行ってください。外国に行きたい、学びたい、って言うと、親御さんも協力してくれるかもしれません。いろんな国に行って、そこで交流をしていただき、異文化を学ぶというのは、絶対に自分にとってプラスになりますよ。外国の人と仲良くすることは、やがては戦争のない世界にもつながっていくのではないのでしょうか。

そういうことも含めて、外国語を学ぶ、行く、来た人と仲良くする、そういうこともぜひしてほしいと思います。



M I A ペルー人講師によるスペイン語教室

3. フリートーク

【司 会】

では次は、まだ言っていない意見や、市長への質問をお願いします。

【市 長】

実は、隣にいる彼は、タウンミーティング 2 回目です。一般のタウンミーティングに、まだ小学生の時に来て、スケートボード大会を開いてほしいという意見を言ってくれました。体育館の隣に練習場はあるけれど、小学生が参加できるような大会がないという意見を受けて、少し時間はかかりましたが 1 回実現しました。皆さんの話を聞いてそのままにはしたくなくて、いい意見はぜひ実現に向けて検討したいと思っていますので、そういう意味で何でも構いません、これから自由に発言してください。

【青少年】

テーマ 1、2 の中で、コミセンの人気度のような話や、オリンピック・パラリンピックに向けて武蔵野市の良さを広げていきたいという話があったんですが、今、バイトとか仕事の中で、東京オリンピックに向けて日本の良さを紹介するようなウェブサイトを作っているのもあり、そういうのを武蔵野市でやっていけばいいのではと思います。

さっき市長が、武蔵境が味スタの玄関口になるとおっしゃってたじゃないですか。例えばサイトの中で、オリンピックに向けて外国人の方に、東京方面から武蔵境に来る際に、例えば渋谷から井の頭線で来て吉祥寺で降りる、千葉方面から総武線で来て三鷹で降りるように、一旦途中下車してもらうきっかけとして、まちの良さをアピールできるウェブサイトとか SNS みたいなのを若者中心でやっていけたらいいなと思っています。僕らはネットを一番知ってる世代だと思うので、外国人の方が検索できるサービスをやっていけたらいいと思います。

【市 長】

ぜひ、そういう場に参加、協力していただければと思います。これから武蔵野市でもそういう取り組みを進めていくと思うので、市役所の誰かとつながっててください。

具体的には、オリンピック担当が生涯学習スポーツ課の中にいますし、それから交流事業課でホストタウンや交流事業の検討をしていますので、そういうところにぜひ連絡をいただければと思います。期待しています。

【青少年】

国際交流についてですが、西東京市では、コミセンの中で、在留外国人の方が日本語を学ぶためのサークルがあるんです。そこで、逆に僕らが外国人の方に日本語を教えて、その上でちょっと英語を話してみられたら、国際交流になるかなと思うんですが。

【市長】

さっきお話ししたMIAがそういう取り組みをされていて、多様な言語の方に対して日本語を教える教室をやっています。いろんな方が必要だと聞いていますので、ぜひそういう場にも講師側として参加いただきたいと思います。MIA会員になれば、おのずと日本語教師としての参加ができると思いますので、MIAに行ってみてください。

【青少年】

今、こうなったらいいなというアイデアがいろいろ出たのですが、意外ともう既に行われているものも多いなと思いました。私はずっと武蔵野市に住んでいて、コミセンやプレイスもできた時からかなり使っているという中でも、知らないことがいっぱいあるのはもったいない気がします。こういう場に10何人も若者が集まるのが、今日すごくびっくりしました。何かやりたいなとか役割があったら楽しいなと思っている中高生、大学生世代がたくさんいて、そういう人たちを欲している大人がいるっていうのをつなげていけたらいい。ちらして実はあまり見ないので、掲示板とかホームページで、見たくなるウェブを作る。武蔵野市のホームページって、開いた人今年何人いますかっていうくらいだと思います。若い人がSNSで、こういうの募集してるよ、やってみたらっていうのと、プレイスとかコミセンで接続ができるような、そういう仕組みがほしいです。

【市長】

おっしゃるとおりですが、我々の世代はなかなか使おうとしないんですね。運営面に皆さんの力を借りるのが一番早いのではないかと思います。

私は、プレイスの特にB2青少年フロアには大変期待をされていて、あまり大人が口を出さなくとも、皆さんの交流でいろんなことが生まれていくのが理想ではないかなと思っています。ですので、コンサートやろうとか、いろいろなイベントもやってきていると思うけれど、そういう自主的な行動に大いに期待をしていきたいと思っています。

【青少年】

ここにいる何人かの若い人の中でも、例えば、有志でこういうイベントを提案したいということがあった時に、武蔵野市の窓口がどこにあるのか知りたい。僕も、さっきのSNSの話を含めて、どこに話しに行けばいいかなと思っていたので、武蔵野市側から、こういうところに若い人が意見を言ってくれると反映しやすいとか、もし既に窓口があるなら、広報していただけると、僕たちが活動しやすいです。

【市長】

若い人専用の窓口というのはないんですが、市民全般のいろいろな意見を受け止める

というものでは、「市長への手紙」という制度があって、それはメールでも手紙でも、ファックスでも何でもできます。ハードルが高いな、でも皆さんメールだったらピッと打って流せますよね。そういう提案の仕方か、あるいはプレイスの利用者であれば、利用者の懇談会とかいろいろあるのでしょうか。

【プレイス】

B2 青少年フロアとしてはないです。

【市長】

若者のいろんな意見を受け止める場というのは、予定はないのかな。

【プレイス】

自主企画事業というのを年 1 回実施していて、自分たちでイベントを企画・実施する青少年の募集があります。

【市長】

では、プレイスでやる事業については、まずはそういう場に参加してください。こんな事業をやったらどうかと、一から始めるものだと思います。

全市的なものは、市長への手紙でもいいですし、秘書広報課に直接市長宛の意見として送っても構いません。いただいた意見を、これは児童青少年課なのか、または交流事業課か、と担当の部署に割り振るのは私の仕事なので、どこに聞いたらいいかわからないのは市長に言うのが一番早いかもしれません。ハードルは決して高くないと思います。言っていただければ対応します。

【司会】

こちらのホワイトボードにいろいろ書いてありますが、事前に B2 青少年フロアにノートを置いてあって、利用している青少年に、市長に聞きたいことを募集して自由に書いてもらったら、こういうのが集まったんです。この中から選んで答えていただけますか。



【市長】

どれか選んでくれますか？

では、「武蔵野市では災害に対する意識の改善、防災対策について何かしていますか。」について。

市の安全安心を守るというのは、一番大きな課題だと思っています。プレイスは5年前にできましたが、その年に東日本大震災が起きました。あの時、武蔵野市は震度5弱という揺れを受けて、大きな被害はなかったんですが、市役所の本会議場の天井が崩落してしまいました。もしそこで会議をやっていたら、すごい被害でしたね。その時に災害対策本部を初めて設置しました。そこでいろいろ、例えば帰宅困難者が出た、ディズニーランドに行って帰ってこられなくなった人もいた、そういう危機管理の話は、それ以降きわめて優先的に行っています。ぜひ一度市役所を訪問して、安全対策室を見ていただきたいです。対策本部会議室の中には、大きな画面で市内の高所カメラで駅周辺をクローズアップして映るような機能も備わっていて、よくテレビの映像で出てくるようなそんな施設を持っています。

防災計画も、この間何度も繰り返し改訂をしています。それから地域の安全は、市役所だけでは守れないので、地域の皆様にいろいろな取り組みを重ねてもらっています。

避難所の運営組織も、9月に最終的な組織ができて、全市的なネットワークが完成します。武蔵野市は、地震については極めて堅牢な土地なので、被害はそれほど大きくはないという前提にありますが、万全な対策をとっていこうと努力しています。その中身は今日紹介することはできませんが、ぜひ注目していただきたいです。また、皆さんは昼間地域にすることが多いかもしれません。ですので、ひょっとしたら昼間に地震が起きた時に、初動態勢については、皆さんもそれぞれの地域で協力いただくことができると思っています。その時、もちろん自分たちの安全を守ることも大切だけれど、地域の他の方を手助けするというのも、ぜひお願いできたらと思っています。

8月24日には、武蔵野中央公園で防災フェスタを行う予定です。そこでは、いろんなブースで防災の紹介もしていますので、ぜひ時間があつたらのできに来ていただきたいと思います。自衛隊のカレーライスも出るんじゃないかな。カレーがなくなる時間帯に来てください。

（3）閉会のあいさつ

【市長】

夏休みの貴重な一日、お時間をいただきましてありがとうございました。ちょっと時間が短かったという気もしますが、ぜひこれを機に、今日お渡しした市勢要覧という資料で、武蔵野市ってこんなことやっているんだということを見ていただきつつ、また、こういう風にやった方がいいんじゃないかなというのを感じていただきたいです。感じたことがあったら、市長への手紙やメールをください。プレイスでも、いろいろ



な企画提案型の事業もありますから、ぜひ来ていただきたいです。今日紹介したMIAも行っていたきたいし、コミセンも本来みんなが利用できる施設なので、のぞいていただいて、どうしてもっと利用しやすくなるのかというのを、ぜひご提案いただけたらと思います。

いずれにしても、地域を良くするためには、私ももちろん頑張りますけれど、皆さんが市民の一員として意見を出し、できることに参加することが第一歩だというふうに思っていますので、ぜひ武蔵野市に限らずいろんなところで、皆さん関わっていただき、その関わり方を大事にしていきたいと思っています。限られた夏休みを最大限活用していただいて、そしてまた2学期も元気ががんばってください。

今日は参加いただきまして、ありがとうございました。



2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	コミュニティセンター	・プレイスばかりが青少年の施設として強調されていて、他の場所が弱くなっている感じがある。コミセン等青少年が利用できる施設について、場所などの案内をもっと充実させてはどうか。 ・コミセンのわかりやすい地図などをいろんな場所に配置したりすればいいと思う。	昨年11月に、コミセン案内リーフレットを作成し、主に転入者などに配付しています。若い人たちにも親しみやすいデザインに仕立てました。 多くの方に、手に取っていただけるような場所への配布についても、検討していきたいと考えています。
2		コミセンの知名度が低く、青少年は使いづらいと思う人が多いのだと思う。コミセン側から青少年に向けてイベントなどやってくれれば、行こうというきっかけになると思う。	コミセンを管理運営しているのは地域のボランティアの方々です。運営委員という形でなくても、イベントへの協力やお手伝いなどに、学生や若い方たちが関わっていただくことによって、青少年向けの企画ももっと増えていくと考えます。
3		コミセンは、もう少し若い人が多ければ居やすいが、高齢者の方が将棋や囲碁をやっているだけの空間な感じがして、ゆっくりしづらく感じる。	コミセンは、乳幼児から高齢者まで誰もが使える多目的施設です。高齢者は一般的に若い方と比べると活動範囲が狭いので、結果的に高齢者が多く利用しているように感じられるのだと思います。最近は、子育て世代向けの事業や、育児サークルによるコミセンの利用も増えていますし、演劇の練習で使っている若い方たちも多くいらっやいます。引き続き多世代が使いやすくなるよう、コミュニティ協議会へ提案していきます。
4		吉祥寺に住んでいる人にとっては、プレイスは遠い存在だと思う。 コミセンでは、卓球台を使ったり会議したりはできるが、青少年にとってはプレイスより使いづらい。	武蔵野プレイスはその特性から、総合体育館や市民文化会館等のように、市に一つの施設と位置付けています。また、本市は市域がコンパクトであり、交通利便性も良いため、吉祥寺地区の皆さまもムーブス等をご利用のうえ、プレイスにご来館いただければと思います。また、コミセンにもそれぞれ特色がありますので、活動の内容によって、使いやすい施設を選択・活用していただきたいと考えています。
5		コミセンの広報に、SNSやフリーペーパーを利用したり、運営に大学生とか高校生が関わってみるというのはどうか。	現在、お祭りや各種事業で学生が協力してくださっているコミセンもあります。青少年の皆さんにも、積極的にご参加いただきたいと考えております。 SNSなどの広報の強化についてはコミュニティ協議会と検討してまいります。
6		コミセンで、毎年3月くらいに、スタンプラリーをやっていると思うが、気が付くと終わってたりするので、それをもう少し広げていってはどうか。	スタンプラリーは、5年間継続して実施してきましたので、昨年度で一旦終了となりました。コミセンの広報力は、まだまだ弱い部分がありますので、他のイベントの告知も含めて、強化していきたいと考えています。
7		コミセンのホームページがせっかくあるのだから、せめて利用時間帯の表などを載せてほしい。	コミセンのホームページは、地域のボランティアの方々が発行していることから、操作に慣れない方も多く、閲覧する方にとって必要な情報を網羅しきれていない状況です。いただいたご意見を参考に、改善に向けて検討してまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
8	武蔵野プレイス	吉祥寺にプレイスのような施設があったら、吉祥寺の分の役割が分散されて、プレイスの混雑が緩和するのではないかと思う。	武蔵野プレイスはその特性から、総合体育館や市民文化会館等のように、市に一つの施設と位置付けています。プレイスの利用者数は増加傾向にあり、混雑でご迷惑をおかけすることもあります。来館者の皆様に気持ち良くお使いいただけるよう、今後も工夫を続けてまいります。また、リニューアルされる吉祥寺図書館や吉祥寺地区の各コミセン等でも、より利用者ニーズを捉えた運営を行ってまいります。
9	インフラ整備	東京オリンピックに向けて、武蔵野市がインフラ関係で変わっていくところはあるか。道路標識などはどうか。	現在、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた市内での大きなインフラ整備の予定はありません。市では、平成24年4月に「武蔵野市公共サインガイドライン」を策定しました。この中で、公共サインへの外国語表記については、限られたサイン表示面内で外国語を複数併記すると、煩雑でわかりにくいサインになるおそれがあるため、国際語としても最も一般化している英語及びローマ字併記を基本としています。現在、市域三駅の駅前に計4基設置されている駅前総合案内板では、凡例のみ、日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語を併記している事例もあります。今後、需要、地域特性、視認性を考慮し、必要に応じて、日本語、英語、中国語、韓国語、さらにはその他の言語も含めた表記を検討しながら整備していきたいと考えています。
10		武蔵野市が、知名度があまりないスポーツの紹介や体験をやって、市民の人がいろんなスポーツに興味を持てるような活動があるといいと思う。	武蔵野生涯学習振興事業団では、アーチェリーのワンデーレッスンやジュニアスケートボード教室などを行い、幅広いスポーツ体験ができるよう、メニューを考えております。また、「Sports for All」イベントを開催し、普段なかなかできないカヌーの体験を武蔵野プールで実施したり、オリンピック種目に合わせてパラリンピック種目の紹介、体験などを行っているところです。
11	スポーツイベント	パラリンピックを身近にしていくためには、小中学校にパラリンピックの選手とかが来て、講演とかスポーツイベントをやるなどしてはどうか。	本年度から都内の全ての公立小中学校で、オリンピック・パラリンピック教育が始まり、各学校で取組みを進めています。パラリンピック選手を呼んで体験や講演を行っている学校もあります。また、本年12月に武蔵野総合体育館においてシッティングバレーボールの全日本選手権が行われます。それに合わせて、シッティングバレーボールの選手が学校に訪問して授業を行い、生徒は試合の応援に行くという取組みを行う学校もあります。
12		スケボアの大会の雨天時の中止を延期してほしい。運営に競技者の意見を聞いてもらいたい。コンテストの対象者を広げてほしいです。小中学生15名は限定しすぎている。	イベントの予備日については、以前からご要望を頂いており、ここ数年検討してきましたが、機材レンタル料、スタッフの人件費が事業予算を超えてしまい、折り合いがつかずに実現できていないのが現状です。コンテストは毎年定員を15名に設定して実施しておりますが、ストリートスポーツ広場周辺が体育施設用の駐輪場や一般通路となっており、参加者の待機場所、見学者用のスペースの確保などの理由から、定員の拡大は難しいと考えております。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
13	英語学習・外国人との交流	武蔵野市にたくさんの外国の方が住まれていると思うが、そういう方と交流できるような場があればいい。	(公)武蔵野市国際交流協会をご活用ください。在住外国人を対象とした様々な事業を実施していますし、自由に交流できるサロンもあります。
14		ネイティブの先生を連れてきて、スピーチ、トークの練習をするようなことを、プレイスなどでやってみてはどうか。	武蔵野プレイスを運営する生涯学習振興事業団では、地域の大学等と連携して土曜学校英語教室を実施しています。今後も国際交流協会の活動なども参考に、外国籍チューターによる外国語教室や様々な交流について検討していきます。
15		西東京市では、コミセンの中で、在留外国人の方が日本語を学ぶためのサークルがある。僕らが外国人の方に日本語を教えて、その上で英語をしやべってみられたら、国際交流になるのではないか。	コミセンでの事業は地域の皆様のご提案や要望を受け開催しているものも多くございます。ご意見のような企画もコミュニティ協議会へどんどんお寄せいただきたいと思います。
16	SNS等を使った広報	東京オリンピックに向けて、まちの良さをアピールできるウェブサイトとかSNSみたいなのを、若者中心で、外国人の方が検索できるサービスをやってほしいと思う。	観光機構のホームページやフェイスブックでの外国人向けのPRの内容については、市内等の大学と連携して取組むとともに、今後は、市内在住在学の外国人や学生の意見も聞きながら取組む事を検討します。また、市では現在、交流事業課と生涯学習スポーツ課オリンピック・パラリンピック担当が連携し、ホームページ及びSNSサービスを構築中です。
17	青少年と地域をつなぐ窓口	何かやりたいなとか役割があったら楽しいなと思っている中高生、大学生世代がたくさんいて、そういう人たちが欲している大人がいるっていうのをつなげてほしい。若い人がSNSとかで、こういうの募集してるよ、やってみたらっていうのと、プレイスとかコミセンを接続できる仕組みがあったらいいと思う。	若い世代にとって、SNSは情報収集、情報発信の身近なツールですので、皆さんの中で、「いいね！」と思った情報については、直接発信していただきたいと考えています。SNSを活用した広報については、コミュニティ協議会としくみを研究してまいります。武蔵野プレイスを運営する生涯学習振興事業団では、SNSや各種広報紙を利用して、様々な情報を発信しています。この中で、利用者の活動をさらに繋げていく仕組みについて研究していきます。また、武蔵野プレイスB2の青少年活動支援フロアでは、ゲーム大会やミュージックライブなど、今までにいくつかの自主企画事業が生まれていますので、今後もこのような、交流の中から生まれる自主イベントや活動について、様々なバックアップをしてまいります。
18		有志でこういうイベントを提案したいということがあった時に、武蔵野市の窓口がどこにあるのか。既にあるのだったら、広報してくれると活動しやすい。	市では、教育・福祉・環境・防災など様々な分野の施策を行っていますので、やってみたいイベントや提案に関連する部署にご相談ください。また、どこに相談したらよいかわからない場合は、市民活動推進課までご連絡ください。お話を伺った上で、担当部署を紹介することもできます。

3. アンケートでいただいた感想

（※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。）

◆参加者の感想	
1	とても充実していました。自分の知識不足を感じました。
2	市外に住んでいるので、コミュニティセンターなど、どうしてもついていけない話題もあった。
3	意見などノープランでしたけれど、とても楽しめました。聞いているだけでも満足です。
4	参加しやすかった。発言しやすかった。
5	アイスブレイクがあった方が良いと思います！進行が学生なのはすごくよかったです。
6	駅からコミセンへの道案内を充実させれば良いと思う。コミセンの利用者が増えるのでは？という行きやすくなると思う。
◆運営スタッフの感想	
1	普段ただ生活しているだけではできない経験でした。思い切ってボランティアとして運営に参加してよかったです。
2	市長・市の職員さんと直接交流しながら、現場で意見交換ができて、武蔵野市に対してより愛着を持って、また関わりたいと思えた。
3	前は大学内での開催だったため、学内の人たちとしか関われなかったが、今回は他大学の人や学年の違う人たちとも関わることができてよかった。
4	実際に市役所の職員さんと、武蔵野プレイスの人と会話できて、とても良かったです。

第65回

青少年と市長の

タウンミーティング

in 武蔵野プレイス

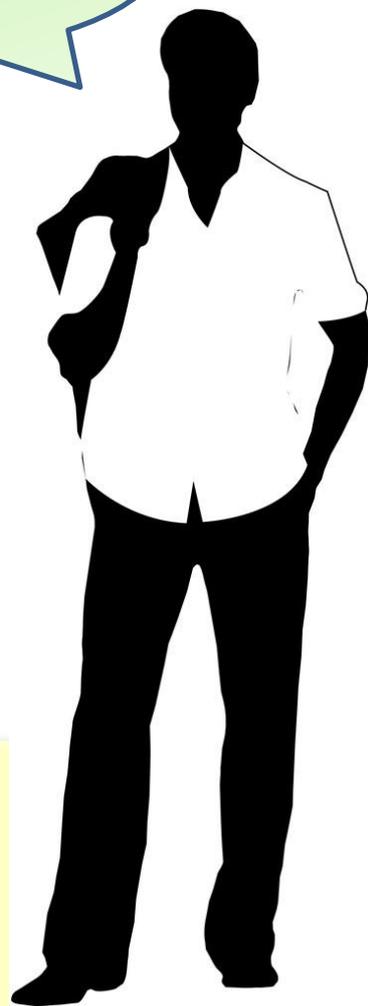
参加者募集中!

「青少年と市長のタウンミーティング」とは？

市民が主役の市政を目指し、地域の課題や市政についてのほか、武蔵野市についてみんなが聞いてみたいこと、取り組んでもらいたいことなどをテーマに、武蔵野市長と意見交換を行うイベントです。

今回のタウンミーティングのテーマは

「2020年東京オリンピックに向けての武蔵野市の取り組みは？」
「予測される首都直下型地震への武蔵野市の備えと対策は？」
「今年度から始まった18歳以上への選挙権引き下げについて」
などを予定しています。



実施日時 8月21日（日）午後2時～3時30分（予定）

実施会場 武蔵野プレイス地下2階 クラフトスタジオ

対象者 中学生から今年度20歳になった年の年度末までの方
※武蔵野市以外にお住まいの方も参加することができます。

定員人数 15名程度（定員に達し次第締切）

参加費 無料

申込方法 武蔵野プレイス地下2階スタジオ受付に申込書を提出。
（申込書はチラシ裏面またはプレイスHPよりダウンロード可）

共催 武蔵野市・武蔵野プレイス青少年活動支援担当

お問合せ 武蔵野市立ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス地下2階青少年活動支援担当
TEL 0422-30-1902 URL <http://www.musashino.or.jp/place.html>

「青少年と市長のタウンミーティング」

参加申込書

1. 申込者（記入必須）

フリガナ		年齢	性別	所属	
氏名		歳	男・女	中学・高校・大学・専門・その他	
住所	〒		—		学校名
メールアドレス 携帯・PC				電話番号	()

受付者	メール
	郵送

※二重線枠内事務欄記入不要

以下、自由記入欄

2. どんなテーマで話をしたいですか？

3. その他、気になることなどがありましたらお書きください。

第65回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成28年11月
武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)